

## 令和4年度事業報告

(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

社会福祉法人 健善富会  
美光保育園

### 総括

コロナ感染症対策としては、換気・消毒・距離の確保・マスク・パーテーションの使用などを行ったが、臨時休園や特別保育になることもあった。幼児は午睡をホールで行ったり、未満児も保育室で距離を保ったりするようにしていた。感染対策が緩和されたため3月後半は午睡については、以前の対応に戻した。

コロナ禍だったが、大きな行事は無事に行うことができた。年長児の遠足「鴨川シーワールド」では、水槽の様々な海の生き物やウミガメ・セイウチ等々を見学したり、三角くじを代表の子どもが行ったり、シャチのショーを見たりする等沢山の経験した。これらを生かし、クラスでは年中・少に経験を伝え一緒にシャチのショーや水族館ごっこ遊びに各クラス発展した。

年長児の思い出会では、ゲームや暗闇探検、おもちゃ作り等を行った。後半の秋祭りでは年下児をゲームコーナーでお世話し、積極的に行動する姿が印象的だった。ファミリースポーツデーや子ども劇場は、今年度は幼児2クラスの合同開催を行った。保護者の方からも「お隣のクラスが見ることができて良かった。」という声が多かった。

卒園式は千葉市から子どもと担任はできるだけマスクをしないように。また、外す場合も子どもの精神面への配慮が必要との通達があった。年長児の懇談会では、「卒園式はマスクを外して行ってほしい」というご意見もあったので、年長児の表情を見て思い出に残る卒園式となった。

職員の各種研修もオンラインと現地参加があり、職員はどちらも利用し研修参加ができた。

保育方針「一人ひとりを大切に、肌理細やかに丁寧に保育する。」保育目標「子どもの社会性、主体性、意欲を培う。」を大切に、担当制保育のやり方・遊びの提供・声掛け・食事の援助等の見直しを図るという目標については、保育士一人ひとりが意識して行うことができたと思うが、振り返り見直すところを改善していきたい。

**保育理念** すべての子どもたちとその家族の幸福を願い、将来、子ども達が世の為、他人の為に働ける人にそれぞれの分野において、社会貢献できる人になれるよう支援する。

**保育方針** 一人ひとりを大切に、肌理細やかに丁寧に保育する。

**保育目標** 子どもの社会性、主体性、意欲を培う。

### 1 園児数

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
定員	9	15	16	16	17	17	90
現員4月	6	15	18	17	18	17	91
現員3月	10	18	18	17	19	17	99

## 2 職員数

施設長	主任保育士	保育士	栄養士	調理員	事務	看護師	保育補助	延長保育	一時	用務
1	1	17	2	4	2	1	5	3	5	2

## 3 健康管理

### 各健康診断

内科健診 2回実施（5月）（10月）

歯科健診 1回実施（6月）

尿検査 1回実施（9月）（9月に満4歳以上児対象）

### 身体測定

身長体重（毎月）・頭囲（年度初め）・胴囲（4か月に1度）

### 感染対策

マスク（3歳以上児着用）・体温測定・手指、玩具、人の触れる場所等の消毒・換気・食事環境（パーティション）・午睡時の間隔を取る・空気清浄機設置等

### 職員の健康管理

- ・ 細菌検査（調乳担当者・調理担当者・主任・園長：月2回／それ以外の職員：年4回）
- ・ 健康診断（年1回）

## 4 行事 ※コロナ感染症により中止になった行事は \_\_\_\_\_

		保 育 行 事	その他
4月			
5月		バス遠足（年長児社会見学）鴨川シーワールド	体育教室
6月		観劇会（劇団風の子）	絵画教室
7月		プール開き	クラス会議
8月			職員会議・昼礼
9月		プール終い	園内研修
		秋の思い出会（年長児） 秋祭り（2歳児・3歳以上児）	給食会議 リーダー会議
10月		ファミリースポーツデイ（3歳以上児）	避難訓練
		さつまいも掘り（年長児）	その他
11月		焼き芋大会	
12月		小谷小学校交流会（年長児）	
		子ども劇場（3歳以上児）	
		クリスマスリクエスト給食	
1月		金沢小学校見学（年長児）	
		ドッジボール大会	
2月			

3月		冬の思い出会（以上児）・リクエスト給食	
		卒園式	
		進級移行期間	

## 5 保育時間

	月～金	延長保育	土
通常保育	7～18時	18～20時	7～18時
短時間保育	9～17時		9～17時

## 6 給食

- ◎ 旬の食材を取り入れ、季節感や行事を大切に、食を通じて、日本の伝統文化を伝えていけるよう、献立に盛り込んでいる。
  - ◎ 子どもの食に対する「意欲」を高め、おいしく楽しく食べられるよう、心がけている。
  - 全園児月～金曜日は主食込みの完全給食。（土曜日はお弁当）
  - 3歳以上児は給食費（1か月主食代 1,000円＋副食代 5,000円合計 6,000円）を毎月27日（土日祝日の場合は翌営業日）に口座振替。
  - 離乳食は月齢や個々に合わせて調理。
  - 全年齢において使用していない食品「落花生・そば・くるみ・アーモンド」  
3歳未満児で使用していない食品「えび・かに・鯖・いか・バナナ・キウイフルーツ」  
以上の食品はアレルギー症状の出やすい食品となるため、千葉市の給食では使用していない。
  - 美光保育園では、全てのお子さんが安全・安心して食べられるようおやつは全て卵抜きメニューになっております。
  - 食物アレルギー児の対応は、医師の診断書に従って、栄養士と相談して行う。
- ※ 苗植えから始めたポップコーン作りは大成功だった。栽培、収穫、乾燥、自分たちの収穫したトウモロコシがポップコーンとなり、良いにおいの中皆が笑顔で食べる姿が印象的だった。
- ※ コロナ感染者が出たため中止になってしまった活動が多かったが、クッキングが行えないところは実演を見学し、作る楽しさと食べる楽しさを味わうことができた。

5月	さつまいもの苗植え（5歳児） 野菜の苗植え（2～5歳児） そら豆・グリーンピースの鞘取り（1～5歳児）	11月	焼き芋大会（3～5歳児） 野菜スタンプ（1・2歳児）——
6月	ジュンベリー収穫（3～5歳児）	12月	コーンフレークのおこし実演（3～5歳児） クリスマスリクエスト給食（3～5歳児）
7月	とうもろこしの皮むき（1～5歳児） 収穫したとうもろこしを干す	1月	七草がゆ実演（3～5歳児）

	<del>アイスパーティー (3~5 歳児)</del>		
8 月	流しそうめん (3~5 歳児) スイカのフルーツポンチ (3~5 歳児)	2 月	恵方巻実演 (2~5 歳児) バレンタイン (クッキー) (3~5 歳児) <del>移動販売 (パン屋さん) (3~5 歳児)</del>
9 月	ポップコーン作り (3~5 歳児) <del>テップおにぎり (1 歳児)</del>	3 月	ホワイトデー (クッキー) (3~5 歳児男児)
10 月	<del>アップルパイ作り (2~5 歳児)</del> さつまいも掘り (5 歳児)		

食育活動 ※コロナ感染症のため中止した活動は

## 7 外部講師による教室

### ◎ 体操教室

基礎体力を養うため、運動の楽しさを知る目的で3歳以上児に週1回行っている。年齢別の活動。整列やゲーム遊び、マット運動から始まり、跳び箱、プール指導、かけっこ、リレー、平均台、鉄棒、縄跳び、マラソン、ドッジボール、サッカー等を年間指導計画に基づき行う。

### ◎ 絵画教室

描画や製作をしながら、感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。

様々な素材に触れ、楽しんで参加する。絵の具、紙粘土等の素材に触れ、それぞれの感性で作品を作り上げる。

## 8 防災・安全対策

- ◎ 消防計画の実施・避難訓練の実施 (消火・避難訓練/月1回)
- ◎ 不審者侵入安全訓練 (年1回)
- ◎ 風水害避難訓練 (年1回)
- ◎ 緊急連絡先の登録
- ◎ 非常用飲料水・食品・ミルク・オムツ・紙コップ・毛布の備蓄
- ◎ 緊急通報装置の設置
- ◎ 2階ベランダのプールのシェード取り付けポールを3か所設置した。(工事)

## 9 職員研修

### 園内研修

4 月	アレルギー対応の確認・エピペンの使い方・電話対応アニュアルの確認・勤	10 月	ファミリースポーツデイ打合せ
-----	------------------------------------	------	----------------

	務時の約束事		
5月	各係の話し合い・アレルギー誤食、熱性けいれんの訓練	11月	虐待防止へ繋げるには わらべうた研修 知念直美氏
6月	玩具・活動の名称統一	12月	子ども劇場打合せ
7月	自己評価①・避難訓練（避難の仕方、職員の動きの見直し）	1月	各学年「ここまでできてほしいこと」確認、2歳児と以上児の連携
8月	自己評価集計・振り返り	2月	自己評価②・肯定的支援
9月	わらべうた研修 高橋静子氏・今年度のテーマの振り返り	3月	来年度に向けてクラス会議

### オンライン研修

5月「これから求められる保育の質～それぞれの園で高めるために」汐見稔幸氏

10月「子どもを傷つけるマルトリートメントを学ぶ～〈とも育て〉社会のために」友田明美氏

### 園外研修

幼保運営課研修・市保協研修・民保協研修・キャリアアップ研修に参加予定・夏季セミナー

## 10 一時預かり事業

保護者の育児疲れの解消、急病や入院に伴う一時的な保育（不定期利用）、又は、就労形態の多様化に伴う断続的な保育（定期利用）など、需要に応じた保育サービスに対応するため実施し、子どもたちの福祉の増進を図る。

- ・ ICT化の運用開始。予約・キャンセルのシステム化により、登録がスムーズになった。改善点も少しあったが、システム会社に伝え、可能な部分は改善して頂けた。
- ・ 一時預りの会議（民間保育園）に参加したところ、保育士不足により一時預りを休止している施設が2～3か所あった。多くの保育園が以前より0・1歳児の利用が増えているため一日の保育人数が減少しているとのこと。どの施設も同じような状態だと感じた。

。